



市整会

会報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.73 2024年7月10日発行

医療法人 孝瑛会
西沢整形外科クリニック
〒599-8114 堺市東区日置荘西町1-15-23
TEL072-288-2001 FAX072-288-2002

巻頭言

市整会 副会長 小竹 志郎 (平成11年入局)

このたび市整会副会長を拝命いたしました。

学術担当理事として、鳴嶋前々会長時代から10年以上、主に日整会の単位申請や登録用PCの管理等の実務を勤めさせていただきました。会員の皆様には学術講演会の座長や司会として時に表舞台に出てお目にかかることはあれど、私個人の意識的には、あくまで市整会会員と主要メンバーの活動に必要な雑務を担う裏方担当という認識であり、それが自分の適性にも合うことで、長らく努めさせていただきました。大勢を前に主役として華や格のある言動は私には無い資質ですし、本来この立場に着任されるべき諸先輩方をそれぞれのご事情やご意向ですっ飛ばした、そういう不適切人事?であることを会員の皆様には切にご理解いただいた上で、以下の駄文をお読みいただければと存じます。

まずは何よりこれからの市整会のありようについて。市整会はどこへ向かうのか、そもそも向かう先はあるのか、あるとしても、そこへ向けて変わりゆく意思や意義や労力を持ち続けることはできるのか。

現西澤会長が、就任当初から慧眼を持って苦言を呈し続けた真意が、組織の存続を脅かす現実の足音として迫っている事は隠しようもなくなってまいりました。実務という土台部分だけ見ても、市整会にとって今のまま、を保つことは早晩不可能になりましょう。

実務の現場の立場からはすでに各所にほころび

も見えます。具体的には先般の理事会および総会で、今後の通信、情報伝達は基本メールで、という方針が承認されましたが、そのメールやメーリングリストのドメイン管理は今も副会長さえ退いた斧出先生が一人で担っておられます。さらに、総務の森川先生が総会や理事会、諮問委員会のたびに準備される資料作成は事前のやりとりを含めると膨大な時間と労力を要するはずで、伊藤先生の会計業務やこの会報作成の宮脇先生の業務も、もし僕がやればもう間違いなく間違いだらけになるであろう精密な作業が今は維持されていますが、どの部署も後継を立てることかなわず、一人プレーイングマネージャー状態です。

この段階はある意味優秀な個人事業と同じで、伝達や分担なく習熟者が処理できるという点で実は効率が高いのですが、日本の多くの中小企業の技術と同じで、後継者不足により遠からず持続不能になります。破綻の兆候としては、欠損部門を社長が一人で引き受けて代行し始めることですが、講演会後の懇親会の会場設定から出欠まで西澤会長がご自身で手配采配し、ゴルフ担当を天野前会長が何から何まで一人で背負ってしまっている現状はまさにこれに相当すると思われま

す。一般企業であれば、まだ利益又は資産が残存する段階ならば、M&Aという形で人も資金もある組織に譲渡されることで、技術と雇用の存続と、経営者の報酬確保がなされるわけですが、市整会、少し一般化して整形外科開業医という業態は

どんな段階でしょうか。

まず利益という面では、やはり我々が各方面、とりわけ製薬業界に利益を生み出せる業態ではなくなっていることが根本にあります。

講演会の協賛が得にくくなり、各メーカーの撤退が続きます。実体験として、独自運営を迫られた先年のフォーラムでは、全くもって私個人の能力と準備の不足ですが、事前の単位申請用のデータのダウンロードを失敗し（以前の会のデータのアンインストール忘れ）現場での紙記入での受付と事後登録という未体験ゾーンで冷や汗を流し、また別の会では、受付け、会計と座長を一人で兼任し大汗をかきつつ混乱を引き起こすということもやらかしました。どちらもコロナ渦の冷めぬなか少人数の集まりでしたので幸いなんとかりましたが、これはこれで集客力のなさを露呈してメーカーの撤退を後押ししてしまったかと思われま

す。幸いにも先日令和6年6月の学術講演会は久方の満席に後ろイス追加という盛況で、ポストコロナでの人の動きや企業スタンスの変化もあるのですが、厚生省の現役統括指導医療官の先生を講師に呼ぶと言う荒技を同期のよしみで実現していただいた柴田先生のご尽力によるのは明明で、これが最後の打ち上げ花火とならぬよう、学術部門奮闘せねばなりません。敷居上がりすぎです。

業界の利益という点に話を戻すと、根本的には国民皆保険制度の持続可能性を賭けた医療費削減の問題であり、市整会単独でどうこう出来るわけもなく、OCAやM3等のネット上で政治やら厚生省を槍玉に上げて不満を愚痴ったところでやはりどう変わるものでもありません。個人的意見としては医療費が増えると本当に国家破綻するのか、内需が増えてむしろ景気や少子化が改善するのではないかとも思うのですが皆様はどうお考えでしょうか。

社会的な面にまで視野を広げてみれば、医師という階層の経済面での凋落という現実が否応なく浮かびます。むかしから馴染みの新地の鮎屋がインバウンドやらイマドキの投資や起業で我々とは次元の違う稼ぎのある若い人やらで賑わい、その値上がり具合にすっかりこちらの足が遠のいてしまった昨今と通じるものがあります。

確かに世の中の本当に優秀な人材を医師という職業にどれほど集めるべきかは議論のあるところですが、個人的にはいわゆる超高学歴層の社会的人格的不安定具合を数多く見てきたことで、頭良すぎるやつに任せすぎるとかえってろくでもないことになるという思いが強く、そんな奴らには新業態での起業やら、金融界のような生き馬の目を抜く世界で奮戦していただき、我々現場の医者にはほどほどの知性と、いい商店主や中小企業社長のよう

な人を引き寄せる魅力と、人と人の世を嫌いにならずに済む程度の余裕があれば有難いかなと思います。

最後に継承すべき資産という点では、我々整形外科開業医がもつ技能、職能が、現代と未来の人の世に本当に必要とされるものでありうるか、あり続けられるか、という問題に行き着きます。私見としては我々の技は未来永劫人が生きる限り役立つものであり、時に社会の安定を支える基盤としてその喪失はあってはならないと考えるものですが、その中身が現実に承継されていくかどうかは医局という職人養成集団の時代変化に伴い大きく揺れ動く可能性が高いと危惧しております。

進歩の時代、安定の時代、ジリ貧の茹でガエル時代を経て、我々が次の破壊と再生の時代まで生きて目にするかどうかができるかどうかはわかりませんが、せめて種だけでも撒き続けて後半生を送りたいと思います。

令和6年度 市整会 総会

日 時：令和6年5月25日（土）

場 所：中国食府 双龍居 天満駅前店

参加者：23名

委任状提出者：64名

議 題

報告事項

- 1、会員の動向について（森川）
- 2、令和5年度事業報告（森川）
- 3、令和5年度会計報告（伊藤）
- 4、その他の報告事項

協議事項

- 1、令和6年度事業計画（森川）
- 2、令和6年度予算案（伊藤）
- 3、その他の協議事項

総会の成立について（森川）

会員189名中 参加者23人、委任状64人、名誉理事の先生で未返信49人…合計136名で総会成立

報告事項

- 1、会員の動向について（森川）

名誉会員（5名）

河合栄蔵先生（昭和54年）（生年月日：昭和28年3月2日）

和田健志先生（昭和54年）（生年月日：昭和28年2月2日）

安田浩成先生（昭和54年）（生年月日：昭和28年11月24日）

倉田順弘先生（昭和56年）（生年月日：昭和28年2月9日）

阪本一樹先生（昭和57年）（生年月日：昭和28年12月1日）

死亡退会者の御報告（2名）

有馬清徳先生（昭和30年入局）が、令和5年9月11日にご逝去

永田清員先生（昭和40年入局）が、令和6年4月26日にご逝去

移転（2名）

坂本貞範先生（平成9年入局）

旧：整形外科さかもとクリニック

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉1-23-17

新：リペアセルクリニック 大阪院

〒553-0003 大阪市福島区福島1-1-51 堂島クロスウオーク4F
電話：06-6451-3030 <https://africatime.com/>

柳井尚浩（昭和57年入局）

旧：柳井整形外科クリニック
〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町1-17-2
新：やない整形外科
〒545-0044 大阪市阿倍野区文の里1-8-13
電話：06-6626-6300

メールアドレスの変更（1名）

恵木丈（平成5年入局）
egi.orthop@gmail.com

閉院（3名）

光武宏先生（昭和58年入局）
10月31日で閉院されます。それに伴い、市整会退会の御希望の連絡を頂きました。
堀澤欣弘先生（昭和54年入局）
飯田伊佐男先生（昭和54年入局）

新入会（5名）

福島宏隆先生（平成29年入局）
…昨年4月に開業され本年度の総会にて再度、御紹介させていただきます。
ふくしま整形外科クリニック
〒540-0025 大阪府大阪市中央区徳井町1-1-8 大手前NTビル3・4F
電話：06-6945-2940 <https://fukushima-cl.jp/doctor/>

小阪寿憲先生（平成14年入局）

…昨年4月に開業され本年度の総会にて再度、御紹介させていただきます。

医療法人桂礼会 小阪医院
〒577-0802 東大阪市小阪本町1丁目9番13号
電話：06-6722-5311 Fax：06-6722-5699

山部孝弘先生（平成26年入局）…本年度の総会にて再度、御紹介させていただきます。

やまべ整形外科
〒598-0012 大阪府泉佐野市高松東1-7-31
電話：072-464-1026

臼井俊方先生（平成26年入局 平成24年大阪医科薬科大学卒）

桃谷うすい整形外科（令和6年3月4日開院）
〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ菜1-11-3-2F
電話：06-4302-7077 usuusu29@gaile.com

万代幸司（平成24年入局 金沢医大卒）

三国ヶ丘まんだい整形外科（令和6年5月1日開院）

〒590-0024 堺市堺区向陵中町1-5-25 メディカルケアモール三国ヶ丘1F

電話：072-275-5283

2、令和5年度前期事業報告（森川）

R5.4.14（金）令和4年度後期諮問委員会（ZOOMにて開催）

R5.4.22（土）令和4年度後期理事会（講演会のみ共催：久光製薬）（ZOOMにて開催）

理事59名中 参加者12人、委任状23人、名誉理事の先生で未返信10人

…合計45名で理事会成立

R5.5.27（土）市整会 総会（講演会のみ共催：科研製薬）

会場：TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋 カンファレンスルーム3B

参加者：23人、委任状94人、名誉理事の先生32人…合計149名で総会成立

総会開始：16：00～ アルツ製品紹介：17：00～17：15 特別講演：17：30～18：10

講演：「骨髄液注入腱を用いた半月板再建術の開発」 座長：宮内晃

演者：大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科 飯田健先生

R5.6.10（土）学術講演会（共催：旭化成ファーマー） 16：00～

ANAクラウンプラザホテル大阪 4階平安（大阪市北区堂島浜1-3-1 電話：06-6347-1112）

参加者65名（演者3名含む）：市整会会員32名、同門会10名（演者1名含む）、

非会員23名（演者2名含む）

学術講演Ⅰ：『上肢疾患に対する低侵襲治療—鏡視下手術を中心に—』 座長：恵木丈先生

演者：大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科 准教授 岡田充弘先生

学術講演Ⅱ：『リウマチ足変形の治療オプション：疼痛・感染対策から機能再建まで』

座長：竹中稔幸先生

演者：大阪南医療センター 骨・運動器疾患センター部長 平尾眞先生

学術講演Ⅲ：『骨粗鬆症の薬物治療—骨形成促進薬の適応と効果を中心に—』

座長：禱史明先生

演者：慶友整形外科病院 骨関節疾患センター センター長 岩本潤先生

R5.6.11（日）スケルトンゴルフコンペ 天野山ゴルフクラブ

参加者：6組 24名

R5.8.25（金）諮問委員会

R5.9.9（土）令和5年度前期理事会・市整会フォーラム（講演会のみ共催：帝人ファーマ）

TKPガーデンシティ心斎橋南船場 16：00～理事会、17：00～フォーラム

理事総数62名、参加予定者18名、委任状16通、名誉理事からの委任13通

…合計47通で理事会成立

演題：『腰曲がりと骨粗鬆症性椎体骨折—大公大脊椎臨床研究を含めた話題提供—』

座長：小竹志郎

演者：大阪市立総合医療センター 整形外科・側弯症センター 副部長 星野雅俊先生

R5.11.4 (土) 文化講演会 オービック御堂筋ビル2階 16:15～

参加者: 43名(会員25名、同門5名、非会員(演者を含む)10名、御家族3名)

文化講演: 『不肖・宮嶋 我がカメラマン人生に一片の悔い無し』

～写真から祖国日本を考える～』 座長: 西澤徹

演者: 報道カメラマン(戦争カメラマン) 宮嶋茂樹先生

(<https://fushou-miyajima.com/>)

特別公演: 『肩肘疾患治療の現状 ～専門医への連携のタイミング～』 座長: 増田博

演者: 清恵会病院 整形外科部長 スポーツ関節鏡センター長 松浦健司先生

R5.11.19 (日) 家族会

和歌山城紅葉観光と老舗の「四季の味 ちひろ」さらに、青木松風庵の月化粧ファクトリーで、月化粧の工場見学

参加者: 会員17名、御家族17名: 合計34名

R5.12.10 (日) 市整会ゴルフコンペ 天野山カントリークラブ

参加者: 4組 15人

3、その他の報告事項

1) 川満先生 急病の代診の件

24単位中、13コマを代診していただきました。

小川先生: 川満先生が個人的にお願いした先生 5コマ

小川寛之進先生 5コマ、小竹志郎先生 2コマ、秋野一男先生 2コマ、阪本博先生 2コマと、結局24コマのうち13コマを代診で埋めましたが、医局からの応援は2コマ(伴先生(平成25年入局)1コマ、澤田先生(平成26年入局)1コマ)でした。

大学院生の謝礼は当初の提示は6万円でしたが、1コマ5万円で妥結したとの事でした。

2) その他の報告事項は有りませんでした。

4、令和5年度会計報告(伊藤)

柳井先生から監査報告

協議事項

1、令和6年度事業計画(森川)

R6.1.27 (土) 市整会新年会

リッツカールトン大阪

講演会参加 35名、新年会 参加78名

学術講演: 「脊椎外科20年の進歩」 座長: 西澤徹

演者: 大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 准教授 寺井秀富先生

R6.3.23 (土) 学術講演会

シティプラザ大阪 2階「燦の間」 16:00～

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-31 電話: 06-6947-7702

15:50～ 共催: 久光製薬

参加者: 38人(演者を含む)(会員26人、同門会3人、非会員9人)

学術講演：「運動器疼痛治療戦略—ジクロフェナクナトリウム含有全身性貼付剤への期待—」
座長：宮内晃

演者：よしむらペインクリニック 山口忍先生

学術講演：「小児整形外科領域の診療に役立つ情報、陥りやすいピットホール」
座長：竹中稔幸

演者：大阪市立総合医療センター 小児整形外科部長 北野利夫先生

R6.5.11（土）理事会（講演会なし、理事会のみ）

居酒屋鮮道 こんび 18：00～20：00

理事61名中 参加者21人、委任状22人、名誉理事の先生で未返信12人

…合計54名で理事会成立

R6.5.25（土）総会（講演会なし（科研製薬さんの共催なし）、総会のみ）の自前開催のみ）

中国食府 双龍居 天満駅前店 17：00より総会、18：00からお食事

会員189名中 参加者23人、委任状64人、名誉理事の先生で未返信49人

…合計136名で総会成立

R6.6.8（土）学術講演会

アーバンネット御堂筋ビル 3FホールA・B 15時～

共催：旭化成ファーマ

講演1：「リハビリテーション医療の現状と対策について（整形外科疾患を中心に）」

座長：恵木丈先生

演者：辻外科リハビリテーション病院 整形外科 副院長 中土保先生

講演2：「骨折のリスクを考えた骨粗鬆症薬物治療のフロントライン」

座長：水沢慶一先生

演者：大阪南医療センター リハビリテーション科 医長 柏井将文先生

講演2：「保険診療の基本的ルール—個別指導における指摘事項の実際—（整形外科、運動器
リハビリ 編）」

座長：柴田和弥先生

演者：元自衛隊中央病院 院長（現関東厚生局） 千先康二先生（せんさき こうじ）

R6.6.23（日）スケルトンゴルフ

R6.9.28（土）理事会

R6.11.9（土）文化講演会

TKP大阪御堂筋カンファレンスセンター

R6.11.10（日）家族会

神戸須磨シーワールド

R6.12.8or15（日）市整会ゴルフコンペ

R7.1.25（土）新年会

※今後市整会行事は、OCOAへの最大限の配慮をしない為、日程を決めさせて頂きました。

※文化講演会は本年が最後です。

※令和7年新年会は後援メーカーがありません。

3、令和6年度予算案（伊藤）

4、その他の協議事項

1) 会員への連絡はデジタル化する件

1年の猶予で徐々に移行する事（絶対事項）、ラインワークスについて日下先生に調べて頂き実用化に向けてみるが、とりあえず理事会だけでのラインワークス開始を検討した。

2) 新年会はエーザイの後援が終わるため、開催を継続するかも含め継続協議する

来年度より、エーザイの共催が得られなくなり、単独開催（その際は、リッツ等以外を検討する）で後援がなくなり、市整会が支払う会場費などの費用はどうなるか？エーザイの後援が得られませんので、継続するかは今後議論していきませんが、リッツカールトン大阪での新年会を楽しみにしている御家族もおられるので今後も継続していく方針だが、協賛メーカーもなく案内を含め返信なども連絡はメールでの一本化でお願いしたく、総会での協議をお願いし、開催の方向で総会にて了承された。

3) 諮問委員会は必要時に人選して会長が招集する

これまで、諮問委員会が有りましたが、定款に記載はなく、会長の私的な機関として、必要時に毎回人選したうえで会長が招集することとする。尚、市整会から資金援助はしない。今後は会長権限でその都度人選し招集する。以上の事を総会にて了承された。

4) 会費について今後の会の運営を考え、適正な会費を継続協議する

西澤会長が4年勤めましたが、本来任期2年を今回だけ1年とする特別措置の承認お願いし理事会で承認された。

教授の交替に合わせるほうがメリットが大きいと考えるので。

中村教授の退官記念事業実行委員に、市整会から天野前会長、小竹副会長、禰理事、そして西澤会長が就任した。

西澤会長の次の会長から、同門会総会への出席費用、写真費用は市整会が立て替える件を話し合った所、理事会・総会での承認を頂いた。

5) 円滑な診療支援体制を構築するため協議を開始する

同門会への拠出金は、休診の穴埋めとバーターとの認識でありましたが1コマ6～6.5万の実態に鑑み、そこまでの意味があるのか、西澤会長から広くメールにて会員の意見をお聞きし、宮脇先生、斧出先生、柴田先生、宮口先生、姜先生、小竹先生、久保先生らから貴重な御意見を頂戴した。その結果、医局と対立関係になることは全く望まないが、医局の傘下に入ることを良しとしない先生もおられ、また世代間の市整会に対するニーズの多様性もあります。新教授が決まれば、早期に話し合いを持つことはしたいと思います。教授が希望すれば、また市整会はどの方向を向くのか。これは会員が決めることであり、医師派遣問題、継承問題、などなど、部会を作って議論したいです。以上の件で、理事会の意見をお聞きしたところ、医局

への80万円の寄付は継続し、今後の診療支援策として市整会から補助金を出すことなどが検討された。

市整会で閉院された先生方は亡くなられていたり高齢であり、勤務医で定年を迎えられたり、時間に余裕がある先生にお声掛けしてみてもとの意見で、総会での了承事項となりました。

6) 役員を下記のように改変する

昨今委任状の返送率が低下し出席者も少なくなり、理事会の開催そのものが危ぶまれる事態となり、また諮問委員会の追認機関となってきた。市整会100年へ向け活動性の高い理事会を構築すべく理事会改革を行うことを諮問委員会で決定し、これまでの理事会・総会にて広くご意見を頂いたところ、賛同が得られ以下の方針となりました。

定款に沿って西澤会長が新理事の案を今後作り、来年の総会にて新理事体制を構築していく。その際に返信の無い先生方は、個々の諸事情が有ると考え、退任して頂き、この先継続していく為にも市整会理事の若返りを図り刷新していく事を協議したところ、令和5年度の総会です承されました。(名誉理事の先生は残留して頂く)

定款に沿った任期を考え来期に刷新しますが、過去5年で理事会に参加されていない先生、委任状を下さない先生を中心に理事を退任して頂く方向ですが、たまに出席・委任状を下さる先生を含め退任して頂きます。

以上の内容で、理事会・総会で承認が得られた。尚、理事退任者には西澤会長からお手紙を送る事となった。

市整会役員

会 長	西澤 徹						
副会長	馬野 隆信	竹中 稔幸	小竹 志郎				
会 計	伊藤 智康						
総 務	森川献志漢						
名誉会長	吉中 正好	長田 明	南平 克積	鳴嶋 真人	天野 祐一		
顧 問	黒田 晃司	楯 憲一郎	前野 岳敏	安田 浩成			
議 長	鳴嶋 真人						
副議長	斧出 安弘						
監 事	増田 博	柳井 尚浩					
理 事	石崎 嘉昭	鳴嶋 真人	宮脇 裕二	斧出 安弘	田中 直史		
	天野 祐一	増田 博	馬野 隆信	柴田 和弥	阪本 博史		
	高山 優	古瀬 洋一	宮内 晃	調子 和則	西澤 徹		
	竹中 稔幸	大川得太郎	伊藤 智康	恵木 丈	日下 昌浩		
	木下 裕介	鱧永 浩	岩城 啓好	姜 良勲	袴 史明		
	森川献志漢	越宗 勝	水沢 慶一	小竹 志郎			

講演会の座長については、職務に関係なく輪番で行うこととする

同門会、勤務医会との連携を模索するタスクフォース結成を考える

7) 定款変更について

上記理事会刷新と諮問委員会の合併において、定款の変更をお願い致します。

第8章 定款ならびに解散（赤字が追加項目となります）

第3条 この会は大阪公立大学整形外科学教室との連携を保ち、本会員の資質向上を図り、会員相互の協調と親睦扶助を推進することを目的とし、次の事業を行う。

(2) 公立大学整形外科教室との学术交流および相互援助に関する事項

第4条 大阪公立大学整形外科教室同門会員開業医、およびこの会の目的に賛同して入会を希望する者を会員とする。

第8条 1. 役員の任期を原則2年とし、重任を妨げない。

任期途中で退任する場合は理事会を開催し後任を互選し、速やかに総会にて選出する

第24条 この定款は総会において3分の2以上の同意を得なければ変更することが出来ない。

第25条 この会が解散したときの残余財産は、総会の決議を経たのち処分する。

第26条 原則すべての連絡は、デジタル通信をもちいる。尚、理事会・総会などすべてにおいて返信のない会員は、会長（もしくは議長）に同意または委任したとみなす。

第9章 付則

第27条 この定款による会務の実施について必要な細則および諸規定は、総会の承認を得て別に定めることが出来る。

8) その他の協議事項として

①デジタル化に向けて ②診療支援について ③新年会開催 これからそれぞれの部会を作り話し合いを持って次回の理事会で検討していく。



令和5年度収支計算書・令和6年度予算書

令和5年度収支計算書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

1. 収入の部

科目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	¥4,830,000	¥4,560,000	¥-270,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,830,000	¥4,560,000	¥-270,000
第2款 雑収入			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥100	¥95	¥-5
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥350,000	¥410,000	¥60,000
小計	¥350,100	¥410,095	¥59,995
当期収入合計	¥5,180,100	¥4,970,095	¥-210,005
繰越金	¥8,695,084	¥8,695,084	¥0
合計	¥13,875,184	¥13,665,179	¥-210,005

2. 支出の部

科目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	¥100,000	¥227,260	¥127,260
第2項 事務用品費	¥10,000	¥0	¥-10,000
第3項 渉外費	¥100,000	¥0	¥-100,000
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥250,000	¥267,260	¥17,260
第2款 各部活動費			
第1項 総務部	¥1,100,000	¥1,353,983	¥253,983
第2項 学術部	¥1,000,000	¥1,356,695	¥356,695
第3項 福利厚生部	¥650,000	¥583,387	¥-66,613
第4項 広報部	¥400,000	¥470,800	¥70,800
第5項 税務部	¥10,000	¥0	¥-10,000
第6項 雑費	¥10,000	¥14,905	¥4,905
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 55周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥4,570,000	¥5,179,770	¥609,770
第3款 慶弔費	¥350,000	¥52,000	¥-298,000
第4款 予備費	¥8,705,184	¥665,171	
当期支出合計	¥13,875,184	¥6,164,201	
次期繰越金		¥7,500,978	
合計	¥13,875,184	¥13,665,179	¥-210,005

内 訳

1. 収入の部

年会費収入	150/191名（閉院28名、未納13名）他 ※1、※2 ※1 前年度分を当年度に入金 1名（¥30,000×1） ※2 次年度分も当年度に入金 1名（¥30,000×1） ¥30,000×（191-28-13）+¥30,000×2	=	¥4,560,000
利息	医師信用組合 三井住友銀行		¥66 ¥29
その他の収入	学術講演会等参加費等		¥410,000

2. 支出の部

事務費

第1項 通信費	FAXネット・ネットバンキング・郵送（封筒含）等	¥227,260
第2項 事務用品費		¥0
第3項 渉外費		¥0
第4項 事務弁償費	総務 会計	¥20,000 ¥20,000

各部活動費

第1項 総務部	諮問委員会、理事会 情報交換会 5回（5/27、6/10、9/9、11/4、3/23） 新年会 ザ・リッツ・カールトン（会場費¥1,220,840ー会費¥742,000） 新年会バンド出演料+弁当代等（出演料¥250,000、弁当代等¥12,912） 表彰状代 名簿印刷+送料 ホームページ関連（サーバー代、ホームページ管理料）	¥51,282 ¥74,285 ¥478,840 ¥262,912 ¥22,476 ¥61,600 ¥222,960
第2項 学術部	文化講演会講師料 大学医局出張費援助金 日整会単位認定事務費等（2022/9/10～2024/3/24 7講演分） ノートパソコン購入（講演会受付 日整会単位申請のため）	¥380,000 ¥800,000 ¥71,650 ¥105,045
第3項 福利厚生部	家族会（奈良旅行） ゴルフ景品代等（スケルトンコンペ¥125,232、市整会コンペ¥43,068）	¥415,087 ¥168,300
第4項 広報部	会報印刷代等	¥470,800
第6項 雑費	振込手数料等 残高証明書手数料	¥11,715 ¥2,420

慶弔費

祝花	¥52,000
----	---------

予備費

50周年記念行事へ補填	¥665,171
-------------	----------

令和6年度予算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

1. 収入の部

科目	令和5年度予算額	令和6年度予算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	¥4,830,000	¥4,860,000	¥30,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,830,000	¥4,860,000	¥30,000
第2款 雑収入			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥100	¥100	¥0
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥350,000	¥350,000	¥0
小計	¥350,100	¥350,100	¥0
当期収入合計	¥5,180,100	¥5,210,100	¥30,000
前期繰越金	¥8,695,084	¥7,500,978	¥-1,194,106
合計	¥13,875,184	¥12,711,078	¥-1,164,106

2. 支出の部

科目	令和5年度予算額	令和6年度予算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	¥100,000	¥100,000	¥0
第2項 事務用品費	¥10,000	¥10,000	¥0
第3項 渉外費	¥100,000	¥100,000	¥0
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥250,000	¥250,000	¥0
第2款 各部活動費			¥0
第1項 総務部	¥1,100,000	¥1,200,000	¥100,000
第2項 学術部	¥1,000,000	¥1,100,000	¥100,000
第3項 福利厚生部	¥650,000	¥750,000	¥100,000
第4項 広報部	¥400,000	¥450,000	¥50,000
第5項 税務部	¥10,000	¥10,000	¥0
第6項 雑費	¥10,000	¥10,000	¥0
第7項 学術積立金	¥400,000	¥200,000	¥-200,000
第8項 55周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥4,570,000	¥4,720,000	¥150,000
第3款 慶弔費	¥350,000	¥200,000	¥-150,000
当期支出(第1～3款)合計	¥5,170,000	¥5,170,000	¥0
第4款 予備費	¥8,705,184	¥7,541,078	¥-1,164,106
合計	¥13,875,184	¥12,711,078	¥-1,164,106

市整会資産(令和6年3月31日現在)

	R5.3.31時点	入金	利息	R6.3.31現在	増減
医師信用組合 普通 医師信用組合	¥1,614,522		¥66	¥3,892,388	¥-752,134
学術基金(医師信スーパ一定期・2059738)	¥1,042,321		¥89	¥1,042,410	¥89
学術基金(医師信スーパ一定期・2059746)	¥1,162,869		¥99	¥1,162,968	¥99
小計	¥6,849,712			¥6,097,667	¥-751,946
三井住友銀行(市整会)	¥3,519,453		¥29	¥3,239,200	¥-280,253
学術積立金	¥6,410,333	¥400,000	¥109	¥6,810,442	¥400,109
55周年積立金	¥0	¥1,000,000	¥0	¥1,000,000	¥1,000,000
事業基金(30、35、40周年残金)	¥4,065,688		¥68	¥4,065,756	¥68
小計	¥13,995,474			¥15,115,398	¥1,119,924
渉外準備金	¥12,680,111		¥215	¥12,680,326	¥215
現金	¥531,109			¥369,390	¥-161,719
50周年記念	¥410,305			¥0	¥-410,305
合計	¥34,056,406			¥34,262,781	¥206,375
					¥7,500,978
					(一般会計合計)

50周年記念行事 収支報告書

1.収入部

積立金(平成30年度～令和4年度)	¥5,000,000
利息(平成30年度～令和5年度)	¥308 定期¥293 普通¥15
参加費	¥895,000 会員45名、家族44名、未就学児6名
市整会一般会計(予備費)より	¥665,171
収入合計	¥6,560,479

2.支出部

会場費(ANAクラウンプラザホテル大阪)	¥2,888,822
アトラクション出演料	¥300,000
じゃんけん大会景品等	¥244,845
来賓お車代	¥30,000 ¥10,000×3名
花束代	¥46,000
準備委員会費用	¥224,725 会議室代、試食会
座談会会食費	¥178,360
座談会時の業者への差し入れ	¥1,600
記念品代(爪切り)	¥1,284,800
招待状等印刷代・送料	¥203,906
座談会案内状送料	¥3,024
記念品送料(会員へ)	¥74,000
事務用品費	¥2,332
記念誌冊子編集制作費	¥315,000
式典と座談会撮影費+原稿作成費等	¥181,125
記念誌印刷代	¥469,600
記念誌発送費等	¥108,875
振込手数料	¥2,585
残高証明書	¥880
支出合計	¥6,560,479
収支残高	¥0

会計監査報告書

令和5年度市整会（大阪市大整形外科開業医会）の歳入歳出につき、慎重監査いたしましたところ、適正に処理・管理されたことを認めます。

令和 6 年 5 月 16 日

監事

安田浩成



令和 6 年 5 月 20 日

監事

柳井尚浩



メールアドレス登録のお願い

市整会 会長 西澤 徹 (昭和62年入局)

会員各位

市整会の人材難に伴う業務量軽減を図るべく、この度の総会で事務連絡をすべてデジタル化することを決定しました。

各種案内（製薬メーカーが送付するものは除く）はすべてメールにて案内し、同時に市整会ホームページに掲載することになります。

すでに一部運用を開始しておりますが、令和7年4月1日より完全に移行することとなりました。

市整会会員メーリングリストに加入していない会員におかれましては、早急にメールアドレスをご登録ください。

また、いろいろ情報発信を行っておりますので、少なくとも1日1回は市整会からの発信をご確認いただければ幸甚に存じます。

下記にメールいただければ

市整会メーリングリストに登録させていただきます。

西澤	徹	noc2001@mild.ocn.ne.jp
斧出	安弘	clinic@onode.com
森川	献志漢	kenshiro-m@nifty.com

メーリングリストは医局のように自由に発言できる場です。

自由闊達な議論を希望します。

なお今後は、メーリングリストとLINEの併用を考慮していることもお伝えします。

市整会LINEも運用しておりますので、こちらへの参加いただければありがたいです。

よろしくお願いたします。

家族会のお知らせ

福利厚生担当 大川得太郎（昭和62年入局）

神戸須磨シーワールドと西村屋 和味旬菜での昼食

日時：令和6年11月10日（日）

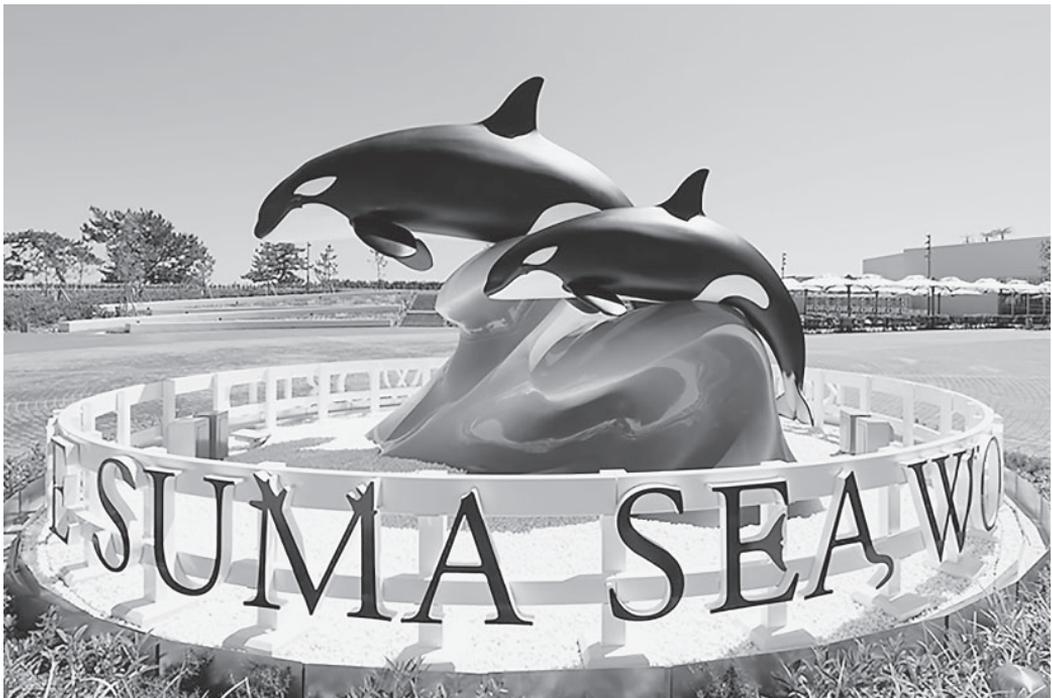
今回は、本年6月1日にリニューアルオープンした。須磨水族館の観光をします。須磨水族館は昭和62年に開演して、30年以上の歴史があります。昨年5月31日に閉園して再整備されました。リニューアル後は西日本で唯一シャチを見ることができる水族館になります。シャチは学術目的以外の捕獲が禁止され、野生のシャチの導入は難しくなっています。そのため人工繁殖に取り組む神戸保全繁殖センターを設立。そこよりシャチを継続的に導入可能とし、須磨水族館でのシャチ運営を可能にしたそうです。須磨水族館はリニューアル後に神戸須磨シーワールドと改名し施設の面積

や水量も大幅にバージョンアップしたそうで、楽しみです。

昼食は、神戸西村屋 和味旬菜で、瀬戸内の鮮魚、神戸市近郊の朝どれ野菜など、兵庫の四季折々の食材を伝統のお出汁で仕立てた体に優しいお料理の数々を堪能していただきます。

今年も十分に楽しんでいただけるよう予定致しますので、ぜひ参加をお願い致します。

なお、詳細は9月に入ってから、改めてご案内させていただきます。皆様どうぞご家族そろって、家族会を楽しんで下さい。



市整会ゴルフコンペの報告

担当理事 天野 祐一（昭和57年入局）

2023年12月10日、市整会ゴルフコンペを開催しました。今回も天野山CCで快晴の元での開催となりました。結果は昨年優勝の田中直史先生がホームコースの利を生かして着実なゴルフで46-39のスコアで優勝、2連覇を飾りました。バスグロは豊川先生で前半戦こそ田中先生とデッドヒートでしたが、後半に伸ばして43-37の80でした。し

かし、ダブルペリアハンデが6.0で3位でした。またグロスでの勝負は新人の久保卓也先生が87と気を吐きました。

さて、親睦のための市整会ゴルフコンペですが、徐々に参加者が減少しています。腕前は問いませんのでゴルフをされる会員の皆様のご参加をお待ちしています。



優勝者は右の田中直史先生

市整会ゴルフコンペ

2023.12.10 天野山CC 参加者15名

		東	南	グロス	ハンディ	ネット
優勝	田中 直史	39	46	85	13.2	71.8
2位	伊藤 智康	44	53	97	24.0	73.0
3位	豊川 英樹	43	37	80	6.0	74.0
4位	山藤 修輔	52	46	98	22.8	75.2
5位	吉田研二郎	46	57	103	27.6	75.4
6位	久保 卓也	41	46	87	10.8	76.2
7位	秋野 一男	50	47	97	20.4	76.6
8位	馬野 隆信	49	46	95	18.0	77.0
9位	天野 祐一	50	48	98	20.4	77.6
10位	増田 博	50	60	110	32.4	77.6
11位	浦勇 武志	50	45	95	15.6	79.4
12位	恵木 丈	49	52	101	21.6	79.1
13位	越宗 勝	54	48	102	20.4	81.6
14位	金井 秀彰	53	58	111	27.6	83.4
15位	西澤 徹	54	53	107	22.8	84.2

ドラコン 東9番 豊川先生 南6番 伊藤先生
ニアピン 東5番 豊川先生 南5番 越宗先生

焼き物へのいざない

石崎 嘉昭（昭和37年入局）

私の焼き物との出会いは、始めは知人の結婚式で都島の太閤園の廊下の一角にガラスケースに入っていた藤原啓氏の備前焼の大きな壺でその器形の美しさに打たれました。当時は氏が有名な備前焼作家であること知りませんでした。その後たまたま倉敷の大原美術館の陶芸コーナーでバーナード・リーチや浜田庄司らの民芸の作品があり、なかでも河井寛次郎の力感あふれる雄渾な作品に衝撃を受けました。陶器については、いわゆる瀬戸物といわれる食器類しか知らなかったのが粘土でこんな自在な形や色の作品を作れるのかと大きな刺激を受けました。

当時斑鳩町で開業して生活のリズムも定まり仕事以外に何か趣味を考えていた頃、偶然新聞を見ていると隣村の安堵町に色絵磁器で人間国宝の富本憲吉の生家に富本憲吉記念館が創立され陶芸教室が開催されることを知り早速応募しました。

その時辻本館長が陶器を作る経験を重ねると陶磁器を鑑賞する楽しみも生まれると話されました。後になってまさにそのお言葉を実感するようになりました。

はじめは磁器や陶器の違いも判りませんでした。後に粘土に含まれる珪酸、アルミナ、酸化鉄や酸化カリやその他諸々の化合物の有無や含有量の割合などの差により磁土や陶土に分類され、陶土には白土、赤土、黒土等の種類のあることも知りました。粘土で形を作り乾燥後、素焼きした後作品に釉薬を施して本焼きをしますが、釉薬の着色剤として鉄、コバルト、銅、マンガンその他諸々の金属酸化物があります。焼成時の温度や窯中にある空気の酸素の多寡つまり酸化や還元的环境下で釉薬の色調は大きく変化します。古くから用いられてきた登り窯や穴窯のように釉薬を掛けないで燃料の松の灰や炭が表面に付着し自然釉となるものもあります。窯も自然条件に左右されない電気、ガス、石油窯も現在では盛んに使用されています。以上のように多くのファクターが互い

に関連し、干渉しあって色調の違いや光沢の変化など多彩な作品が生まれます。化学に造詣の深い方には興味あるテーマではないでしょうか。

私の所属する教室では電気窯で主に白土、赤土、黒土系統の土と、約10種類の釉薬を利用できます。ろくろは電動と手回しろくろがあり私は専ら手回しろくろを使っています。

数年前まで約30年間地域の医師会の焼き物の会の世話役をしていましたが、その間所謂6古窯（越前、瀬戸、常滑、信楽、丹波、備前）の見学バス旅行や富本憲吉記念館の山本氏の紹介で伊賀の丸柱の土鍋工場や立杭の粘土採掘現場などの見学など行ってきました。また家族旅行や医師会の旅行、学会の際に時間を利用して、九州では有田、伊万里、小石原、波佐見、唐津、子鹿田などの窯場、四国では砥部、大谷、島根県の温泉津、沖縄読谷村のやちむん、花巻や北海道岩見沢でも旅行先の土地の窯場を訪ねてその土地の風土に根差した独特の釉薬や土の雰囲気のある作品を楽しんでいます。アイルランドのダブリンやカンボジアのシェムリアップに旅行した時にも記念に小品を求めました。市整会の前身・開業医会の時代に九州旅行で唐津の中里窯に行ったとき（故）妻鹿利和先生が茶道の茶碗を買われ、私も身分相応の安価なものを求めました。

安堵町の陶芸教室に通っている時、宮内先生のご両親が記念館で開催されていた有名作家の展示会に来られて偶然の出会いに驚きました。今は生駒市の一風陶房に属しています。

外国の博物館では何といても台湾の故宫博物館が陶磁器についても質量ともに素晴らしい作品が所蔵されています。明や元の染付の優品が印象に残っています。陶器を見学する目的で台湾に行かれる熱心なファンもおられるようです。

国内では中之島の大阪市立東洋陶磁美術館ですが、安宅コレクションを中心とした国宝や重要文化財を含む中国や韓国の優品が所蔵され、精微な

宋時代の磁器、優美で温かみを感じる韓国の李朝の白磁や高麗青磁などを鑑賞することが出来ます。都会の喧騒の中のアアシスようです。

また丹波篠山市の兵庫県立陶芸美術館もどかな立杭の村落にあり、秋の紅葉も素晴らしく、隣接した丹波焼の里、丹波伝統工芸公園陶の郷には古丹波の資料館も見ることができ、ゆっくりと半日を過ごすことができます。アクセスも便利でJR相野からバスも利用できます。九州の有田には佐賀県立九州陶磁文化館があり、有田陶芸市に行ったときたまたま同文化館に入り、古い時代から現在にいたる多くの有田焼の磁器作品を鑑賞してその魅力を初めて認識することができました。一般に関西では陶器が中心で磁器を見る機会が少ないように思います。

2001年世界陶磁器エキスポが大韓民国で行われ

メイン会場の利川に行きました。

外国人の受付ブースや会場では日本人と分かって温かい対応をうけたことは今でも記憶に残っています。展示されていた韓国の作品群は、日本の陶磁器の源流でもあり懐かしさと共に高麗青磁の系譜をひく作品に目を惹かれました。帰国時イチョン空港でテレビの前で人々がざわめいていて、アメリカでの9.11の事件がまさに実況放映されている最中で、韓国語がわからないので余計に異様な雰囲気不安を感じたことも忘れられない思い出です。

先日市整会の元会長の鳴嶋先生に、穴窯で焼いた素晴らしい茶壺の写真をを見せてもらいました。陶芸ファンが増えることを願っています。

いつまで経っても上達いたしません、これまでの作品の一部(写真)を掲載いたします。



仏跡巡礼でインドを旅した思い出石がん(仏様を入れるもの)と仏像、黒土の焼き締め



法隆寺壁画の聖観世音菩薩の陶板 たまたま制作中に次姉がコロナにかかり、病氣平癒の願いを込めて陶芸絵具と釉薬で観音様を描きました

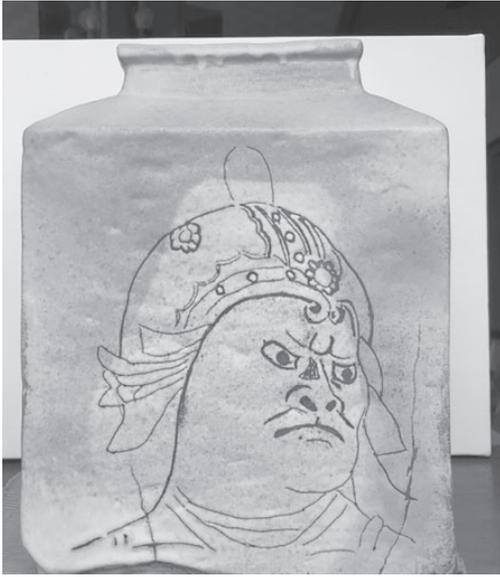


法隆寺壁画の天女の舞 赤土の壺に白化粧して陶芸絵具で描きました



舟のシリーズ

義兄の見舞いで行った時横浜港に係留されている氷川丸の船内の資料室の本を読んで船の歴史や種類や変遷に興味を持ち、大阪市歴史博物館や鳥羽市立海の博物館や北海道野幌の北海道博物館を見学して、舟の埴輪二隻、アイヌのイタオマチブ、沖縄のサバニを制作しました。石垣島で偶然入ったお店でサバニの設計図のプリントされた黒いTシャツを発見した時は見えない糸に導かれているように思いました



直近の作品の1 方形壺
東大寺四天王 白土にチタン釉を掛け
ベンガラと呉須を吹き付けました



その2 壺 うずら釉と緑釉 南蛮土



釉薬を掛けた時の色の違い
うづら釉薬を掛けた場合上
の白土ではほぼ白っぽい
下の南蛮土では黄緑にな
る。皿の表



本焼き後の土色の違い
(釉薬なし)
上の白土では、白い
下の南蛮土では黒っぽい。
皿の裏



家族の作品
今年のゴールデンウィークに
孫や子が作りました

電気窯では土や釉薬の特徴を理解しその種類を選択することにより、ある程度意図する雰囲気のある作品を作ることが出来ます。地球の太古の活動の産物である土に触れ土に戯れて自然のふところに抱かれ安息のひと時を楽しんでいます。

若い方々に申し上げたいことは、自由な時間が出来た時に或いは時間を作って、いつか仕事を離れる時のため何か趣味を始めて下さい。きっと充実したひと時を過ごせます。

私にとっての市整会（前編）

黒田 晃司（昭和46年入局）

1969年1月18日東大の安田講堂を占拠していた全共闘を放水などで機動隊が追い払い、やっと東大を開放した（下の写真）。

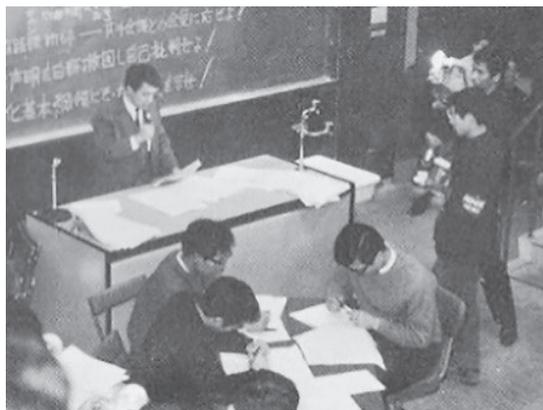


1969年東大の入試は行われなかったが医学部教授会の民主化闘争として全国に広がった。私達はこの全共闘の学生が全国に広げた運動に巻き込まれた。

1968年10月頃から医学部の教授会の民主化運動を掲げる学生運動が広がってきて、我が校も授業が妨害され始め、やがて卒業試験ができなくなり卒業できないのではないかという不安が広がり、なぜ卒業が妨害されるのか腹立たしかった。特に42・43の既に卒業した学年の者が我々に卒業しないで医局の民主化運動に加われというのが腹立たしかった。

1968年11月卒業試験を始めないと卒業できなくなる時期に突然教授会の反応が無くなり、説明もなく授業もなくなってしまった。私達は地下の教室で毎日どうすべきか相談して民主化には反対するものではないが、我々の学年の卒業は予定通り試験をして欲しいことを下級生に訴えた。しかしこの言葉尻捕まえられ、44会（獅子の会）も民主化のためにストライキを打つことに賛成しているとクラス会に押しかけて来た記者が翌日の朝日新聞の紙面に書かれた。

これが引き金となり医学部校舎・病院が封鎖さ



れ卒業試験の希望は無くなった。

上の写真は獅子の会が後輩に最上級生からの現況を説名するために開いた獅子の会のクラス会で、中央にマイクをもっているのは私です。

これが後1979年に獅子の会の同級生が職場を追われ23人が開業する原因となった。この後我々はどうしてよいかわか判らず、連休明けまで失望の余り何もできなかった。

医学部長が教授会は何人も医学部長が変わるが一向に進展がなく、我々はもがくだけの時期を過ごした。N君は同窓会の情報を知らせてくれていた。

変化があったのは小谷教授が医学部長になった時でした。医学部の組織が時代に合わなくなっていたのでしょ。我々には判らなかつた。小谷医学部長に直訴したかつたが、敷居が高かつた。

市川先生に泣き言を言ってみたら反応があつた。どうやら市川先生が小谷教授のボディガードで忙しいようでした。しかし不法占拠なのになぜ医学部や病院を開放するのにこんなに時間がかかるのか私には納得できなかった。

小谷教授が医学部長になると、ほつれた糸が解ける方向に動きました。私は小谷教授と1968年セイロン医学調査隊で隊長と学生隊員として2か月過ごしたご縁、T君がF先生（医学部の同窓会長）、N君は市大医学部の1期生本田良寛先生と



の關係を使って校舎、病院の封鎖を解く方法を探り教授会の若い先生と解決のそれぞれの役目を進めました。

我々3人の獅子の会のメンバーが物言わぬ同級生を束ねて、進む方向は同じですからびくびくしないで自分たちの信念を貫いて卒業という目標に向かいました。

1969年7月25日、やっと卒業できた。同年後期の医師国家試験に合格、12月25日、医師免許を授与された。1970年4月1日、1年間無駄足踏んだが念願の研修が始まった。

整形外科の研修のプログラムで一門の医師が大学に集合して、毎週行われる手術前カンファレンスを受けると、このカンファレンスの先輩は侃々諤々とまさに掴み合いの喧嘩が起こるかと思うほど熱心に議論し、意見が出尽くしたと思う頃、小谷教授が総括し「この症例はここに意見の相違がある。主治医はもう一度ここを調べるべきだ。今週の手術は延期してもう一度来週調べて報告して結論を得てから手術の術式を決めた方が良い」と言われる。これこそが民主的な教授の舵取りの医局だと思いました。

結局、教授会の中にも年代の断層が出来ていて、高齢の耳鼻科や二内の教授は対応できなかったのだということが判りました。

私は内科の循環器に失望していたことがあり、一遍に進路を整形外科変更しました。

しかし、私の卒業論文の審査の時、小谷教授が病魔に倒れました。沢山の先生が助けてくださいましたが、内科の教授でしたが、私の論文の審査員を引き受けてくださっていました。心からお礼を申し上げました。

1973年3月で研修医を修了の同年4月、小谷教授の前で「ヒポクラテスの誓いに」署名して、整

形外科医局に入局が許された。大阪市立大学医学部整形外科開業医会は、1972年11月26日34人の会員で発足した。それは1969年に阿倍野の医学部校舎と病院が医学部教授会の民主化運動のために封鎖された、整形外科OBの開業医は勤務医会のように横の繋がりが無く校舎が封鎖された時対応できなかったのが開業医会が結成された動機だとOCOA会報48号3ページに石崎嘉昭先生記述されている。大学の教育現場から離れている開業医の先輩には理解できなかったと思えます。

大阪市大整形外科の同門会や開業医会のメンバーは昭和20年半ばから30年半ばに入局された方々で、第二次大戦の終戦後の混乱期から復興期に軍医として参戦された方や旧制高校卒業の方々など当時の時代背景から個性豊かな先輩方が多く、同門会や開業医会がスムーズに運んだのは伊藤成幸先生のお人柄に負うところが大きかった。

先生は日整会の理事を務められ、OCOAの創立メンバーで、3代目のOCOA会長も務められました。このあたりのことを知っている会員はほとんどいなくなった。

大学の封鎖が始まるきっかけが獅子の会のクラス会だったと初めに書きましたが、この影響で私は1979年末退職して、1980年5月1日、母の誕生日に大阪市と堺市の境界の大和川のすぐ南に黒田整形外科クリニックを開設した。一旦は終の住処と決めていた奈良市西大寺から浅香山へ引越した。

堺市医師会には同門の長田先生ら7名がいた。整形外科医は少ない時代で、私は堺市医師会で8番目の整形外科医でした。OCOA会員が300人を超えた時の会長が伊藤先生で、開業医会の会員が68人になった1980年に私は開業医の会とOCOAに同時に入会させてもらった。開業医会に集るのは20人くらいで会費の集まりも悪く、会合時の費用は参加した先輩の先生方が不足分は支払っていた。

小松先生長田先生が実務を担当するようになった時、市立医科大学が3校あり、名古屋・横浜の大学の整形外科の開業医の先生の了解を得て、大阪市大の開業医会は「市整会」と改名した。

大学名は公立大学に変更されましたが、市整会の名称は変更しないで欲しい。名古屋、横浜市立医大の公認を得ているからです。

大学紛争の時に入局と言う言葉が凍結された。今回解除され1971年4月1日医局で小谷教授の前でヒポクラテスの誓いに署名して入局が許可された。私は10年間大学で研修を受けた。大学院は広橋先生の指導を受けて医学博士号を受け、その年の大阪医学会の特別賞を貰いました。本来学部長の小谷教授から授与された特別賞は、病気が悪化して代理の大和田国男先生からもらったのも運命的な気がした。それは私が属していたセイロン医学調査クラブの顧問でしたからです。

その後府立身障センター病院に派遣されましたが、4年後坂井院長に「獅子の会のメンバーが大学紛争を起こした」と非難されて首になりました。

誤解も甚だしい。そのためか身障センターはこの後、大阪府立病院に吸収合併されてなくなりました。これも運命的に感じた。この時、他科の同級生も同じ理由で同じ目に合い、23人が開業した。

長田・小松先生に推薦していただき、開業医会の理事になりました。私と同時に杉本・南平先生も理事になりました。

集会は豆ごはんが名物の廣田屋、茶白山の坂口楼、宗衛門町の新市で開かれていました。

1981年11月14～15日初めて参加した市整会の1泊旅行は熱海温泉の旅行で、幹事上田、渡辺先生は夜の宴会から参加されました。宴会は先輩が同行された美女4人いて大層な盛り上がりでした。私と渡辺先生は酒が飲めないので早々に温泉に入って寝ましたのでその夜のことは知りません。

50万円の赤字が出ました。私が負担したのは5万円だけでした。この赤字が次の理事会で取り上げられ、あの温厚な宮内先生が鬼の形相で怒られました。私は先生が本当は怖い先生であることを知り以後参加出きなくなりました。

1988年の総会で、上田晏弘先生が大阪府の国保の審査委員長になり、懇親会の1部を私が代行することになった。しかし私の力では参加者が思う



ように集まらず、50歳代までの者を「若市会」60歳以上を「65会」に分けて、若市会は長田先生が、六五会是小松先生が開催しました。会費を若市会は安くして回数を多く開き、参加しやすくなりました。

この会は理事会ではないが、3回参加した会員は皆理事に推薦されました。その苦勞が実り理事が70人会員100人になりました。

1泊旅行は参加者が少なく、調査すると若い会員は奥さんの手前遊びに行きにくいという意見で「近畿6県をめぐる日帰り家族同行ツアー」に、一泊旅行は元々ゴルフが目的でしたので、ゴルフコンペに分けました。日帰りバス旅行は、①6府県の会員に地元の名所旧跡と昼食の場所を決めてもらい会員は現地集合、現地解散として昼食代と交通費1,000円を支払って、②当日のガイドは地元の会員が担当する。有料のガイドは雇わない。私が簡単な謂れや歴史を用意した。③バスは私が用意した。当時観光バスは高いので安い千里山バスを使って始めました。7万円で利用できた。観光バスが20万円の時代でした。第1回は1988年11月13日に杉本先生の世話で神戸。北野の異人館ー風見鶏の館・ドイツ人貿易商ゴッドフリート・トーマス氏の自邸、うろこの館等を歩いて巡り、続いてチャイナタウンへ行きました。昼食は郡愛飯店。午後は神戸港などに行った。

(次回後編に続く)

旅のついでに城郭巡り 函館 五稜郭

天野 祐一（昭和57年入局）

北海道函館に風変わりな建築物があります。江戸時代幕末、財政難にあえぐ幕府が大金を投じて外国船の防御のために7年の歳月を掛けて作った要塞。ロシアのセバストポール要塞に習って作られました。五角形星形の城郭の先端には堡塁が作られて敵に十字砲火を浴びせる設計です。しかし、装備された大砲がお粗末で、対艦砲なのに函館の海岸まで砲弾が届かなかったようでした。

結局、幕末の日本最大の内戦と言われた戊辰戦争の最期に新政府軍と会津、奥州連合が、会津決戦で敗れて箱館まで逃れ、榎本武揚らや新選組の残党、土方歳三が立てこもった要塞でした。これが箱館戦争です。

榎本武揚らが新政府に召し上げられた開陽丸など7隻の軍艦を奪って北海道に向かい福山城や江差を砲撃し陸からの援軍を待って居たところ折からの強風により江差沖で座礁し、その後沈没。援軍が期待出来なくなりました。榎本らの籠城策を潔しとしなかった土方はわずか50人で打ってでて、自らは単騎敵陣に切り込んで壮絶な討ち死にをとげました。数日後には五稜郭も官軍の新鋭艦のアームストロング砲の砲撃で落城。榎本武揚ら幕府軍の抵抗は終わりを告げました。時に1869年5月、この後政府は直ちに版籍奉還を行い、7月には蝦夷地に開拓使が置かれ、8月には北海道と改称され箱館は函館に名前が変わりました。

隣接の五稜郭タワーからは城郭全体を見下ろせます。ここから道路を渡って一つ目の橋を渡ると幾何学的に美しい三角形の出丸に渡ります。さらに幅30メートルの堀な掛けられた第2の橋を渡って星形の城郭のへこんだ所にたどり着きます。

今は藤棚になっている本丸に通じる路を抜けると広場は広大で日本式の櫓や天守に慣れた目には全く異質な要塞です。

元となる要塞はクリミア半島のセバストポリにある様ですが、ちゃんと城としての実力はあったのでしょうか？結局外国船を打ち払う役には立た

ず、内戦で陥落してしまうという皮肉な結果になってしまいました。

さて五稜郭タワーの上階は展望がよく、遠くは北の横津山、駒ヶ岳、南はすぐに函館山や函館湾を望みます。また五稜郭を巡る数奇な運命の展示物があり訪れた観光客も熱心に見ていました。

しかし北海道は広い。函館から札幌まででも高速道路だけで311キロはあります。訪れたのは今年の夏休みでしたが、函館空港まで飛行機で現地のレンタカーを調達して3泊で訪れました。函館と言えば北島三郎の「函館の人」ですね、

♪は一るばる来たぜ函館〜♪、2番は函館山の頂で〜…ですが、まあこのお山の混んでること！日本3大夜景と言われており、楽しみにしていたのですが、日没の1時間以上前から山頂の展望台スペースには蟻塚の蟻山の様在所狭しと観光客が群がっており、残念ながら夜景は諦めて下山しました。コロナ前の鶴ヶ岡八幡宮に行った時にも電車からホームに出られないくらいひどい混雑に閉口しましたが、コロナ後の観光熱もさらに凄いです。

函館で一泊したあと朝市も覗いたのですが、食事処は海鮮丼目当ての観光客が行列しており、値段も軒並み3000円以上です。お土産店も毛蟹や海産物、トウモロコシ、流行りのシャインマスカット、ジャガイモ等の宅急便を頼む客で大にぎわいでした。

札幌に向かう道央道高速道路は爽快そのもので内浦湾沿いに北上して大沼公園を一周したあと洞爺湖サミットの会場のウインザーホテルでランチして洞爺湖へ。

観光船に乗ると外国人だらけで、不思議なことにはほぼ全員が船内で販売しているお菓子のカールを買い込んでいる。

何でだろう？と見ていると遊覧船の周りに何十羽と群がって飛んでいるカモメに観光客がカールを投げると、器用に嘴でキャッチしてゆく。これ



タワーから見下ろした五稜郭(上)と
羊ヶ丘展望台のクラーク像(右)

がインスタグラムでバズっているようでした。ゆっくりと洞爺湖を遊覧して、巨大なホテルに宿泊。夏の間毎日開催の花火を鑑賞し2日目も暮れてゆきました。ホテルの展望露天風呂にもカモメがやって来ていました。

3日目はまず登別温泉で荒涼とした光景を見た後、温泉で一風呂浴びて最近出来た「ウポポイ」民族共生象徴空間 国立アイヌ民族博物館を訪れました。ポロト湖のほとりの広大な敷地に博物館や体験交流ホールが点在し、ゆっくりアイヌ文化を鑑賞出来る施設でした。

さて、季節的にちょうどトウモロコシのシーズンで、生でも食べられる「ピュアホワイト」をはじめとする白いトウモロコシが大人気です。これが函館朝市や空港内のショップと比べると道の駅が断然安く、空港の半額くらいなのに気が付きま

した。手軽に宅急便で送ることが出来るので土産におすすめです。

室蘭の地球岬(すごいネーミング)は270度の眺望が売りですが、折しも雨で殺伐とした光景でした。その後ひたすら走って札幌へ。大通り公園、札幌タワーと見て市内で3泊目、最終日はさっぽろ羊ヶ丘展望台のクラーク像から北海道大学の並木道、小樽運河へ行きましたが、小樽も殆ど北一ガラスの街となっており、嵐山や道頓堀のような混雑で早々に新千歳空港にたどり着きました。レンタカー乗り捨てプランでした。空港周辺のレンタカー会社はどれも物凄い数のレンタカーで、北海道旅行はやはり車利用しかないのかと実感しました。

涼を求めての旅でしたが、去年の夏の北海道は大阪並みに暑かったです。

どパワースポットと、言われるように幻想的な空間が広がっていました。そこでしばらく心の洗濯をして、不思議な力をもらい、また、こけないように必死の思いで地上へと向かいました。何とか地上にたどり着きましたが、お気に入りの靴が泥だらけになりましたが、何とか転倒だけは免れました。(写真4)

その後、17エンドに行きましたが、エメラルドの海が広がっていて、また違う海の色を見ることができました。そこは下地島空港の端っこに位置しているので、たまたま、空港を飛び立つ飛行機を真上に見ることができ、満足しました。

17エンドを後にして、市街地に向かい、マンゴーが有名だというので、マンゴーを買って帰ろうと思い、お土産屋さんに行きました。マンゴーの値段が1個1000円くらいかなと思っていたのに、その何倍もの値段だと知り、こんなに高いとは知りませんでした。

まもる君 レンタカーで島のあちこちをドライブしましたが、交差点や小学校の前でお巡りさんの人形を見かけました。宮古島では人気者のまもる君です。島内に20体くらいあるそうで、島内にあまり信号がない分、まもる君が島内を見守っているのだと思いました。(写真5)



写真4



写真5

平安名埼灯台 東平安名埼にも行きました。岩礁に打ち寄せる波を見ながら先のほうまで進んでいくと灯台があり、有料で中を登れるとありました。家内は行かなかったのですが、高いところが好きなので一人で登りました。かなりの階段を上って上まで行きました。見晴らしがよく、太平洋が見渡せて地球の丸さを実感できました。

ぐるっと回ることができるのですが、風がきつく、足がすくんでしまって、半分くらいしか回れず下りてきました。(写真6) その後、来間大橋を渡って来間島もダッシュでいきました。(写真7)

ホテルはサンセットビューの部屋に泊まっていたので、サンセットを楽しみにしていましたが、夕暮れまで天気が良くても、いざ日の暮れになると水平線付近に雲がかかり、サンセットを見ることができませんでした。ホテルの方に聞いても、この時期はきれいなサンセットを見ることができるのは、非常に少ないとのことでした。(写真8) これも残念。

レンタカーで島内を端から端までめぐり、あわただしい旅でしたが、宮古島を堪能した楽しい旅となりました。



写真6



写真7



写真8

2024年お花見ハイキング ついでに大阪の治水工事

天野 祐一（昭和57年入局）

3年目となる春のお花見ハイキング、今年は満開を3月末と予測して3月30日に企画しました。ところが寒気の居座りや長雨等で開花がずれ込み、3分咲きでの開催になりました。

午後4時に桜ノ宮の帝国ホテル大阪ロビーに集合。メンバーは森澤先生、秋野先生、奥田先生、辰巳先生、金井先生と私の6人。やや曇り空の暑くも寒くもないコンディションです。

帝国ホテル大阪は大川縁に20年以上前に三菱重金屬の跡地に建てられました。対岸の大川左岸には桜ノ宮の地名の由来の桜ノ宮神社があります。今でこそ桜ノ宮や銀橋という地名はあまり聞きませんが、江戸時代の浪速名所図譜にも桜の名所として浮世絵が残されています。まだまだ三分咲きでしたが、あちらこちらに敷物を敷いて花見を楽しむグループあり、和やかな雰囲気です。

大川（旧淀川）は都島区と北区の境目にあり新淀川左岸、毛馬地区に閘門（こうもん）があります。大川沿いに自転車と歩行者用の道路が整備されており車道を跨がずに新淀川左岸に出ることが出来ます。大きな洗堰（あらいぜき）、閘門を見ながら大阪湾に向かって堤防を歩きます。ここにも桜が植えられおり満開ならさぞかし綺麗だろうと思われれます。ここからの景色は遮る物がなく梅田の高層ビル群が見渡せ、夕暮れ時には遠く六甲山に沈む夕陽が見られます。毛馬村出身といわれる江戸時代の俳人、画人の与謝蕪村の春風馬堤曲の一首「春風や 堤長うして 家遠し」の歌碑もあります。この堤防上を長柄橋まで歩き、656mのアーチ橋を渡って東淀川区に入ります。

「物言はじ父は長柄の人柱 雉子も鳴かずば射られざらまし」という短歌は聞いたことがありますが、この歌碑はここから2km離れたお寺にある様です。何度も洪水による橋の流失に余計なことを言ったばかりに人身御供にされた悲しい話で

す。渡って直ぐに柴島浄水場と新しくなった淀川キリスト教病院の間を通り、阪急電車京都線崇禅寺駅にたどり着きました。阪急京都線の高架工事が進められていますがコンクリート製の橋脚が林立し、鉄道工事は大変なコストがかかるだろうと実感しました。1時間45分のプチハイキングで、ここから電車に乗って15分で梅田に行き、エストにある別館牡丹園梅田店に予定通り6時に到着。お疲れさま会になったのは言うまでもありません。

さて、大阪平野の成り立ちと治水工事の話を少し。新淀川は今でこそ川幅も広くて水量もあり上流から大阪市内にかけて真っ直ぐな河川ですが、2000年前は上町台地が半島として岬のように飛び出しており、河内湖によって生駒山地の麓まで水場でした。名残の地名も多く、野崎や石切は船着き場だったようです。浪速（なにわ）（なみはや）の語源も神武天皇の東征の際に船でこの岬を越える際に波が速かった事からこの名前が付けられたとの伝承があります。

そんな河内湖に流れ込んだ河川の運んだ堆積物で徐々に埋まってゆき、戦国時代にはたくさんの島が出来ていました。難波や芦原橋、九条島、豊島（てしま＝豊中の地名は豊島郡の真ん中に有るからついた名前）、歌島、姫島、中書島、四貫島、など挙げればきりがありません。なにわの八十島と呼ばれたゆえんです。

さて、4世紀に仁徳天皇によって淀川左岸に茨田堤（まんだのつつみ）が築造されたのが淀川の治水工事のはじめと言われます。その後、土木工事や治水対策に力を注いだのは太閤秀吉でした。墨俣一夜城、小田原の石垣山一夜城、備中高梁城の水攻めなど築城や土木工事の逸話には事欠かないですが、天下統一した後は淀川左岸に伏見までの長大な堤を作り交通が飛躍的に改善しました

し、伏見城建築の際には宇治川を伏見城下に導き入れる太閤堤を作りました。京の都のお土居や聚楽第、九州の名護屋城、大阪城だけでなく時の権力者として強大な権力で庶民の要望にも応えたのでしょう。

しかし、治水は一筋縄ではいきません。比叡山や滋賀県の花山、鈴鹿山脈からの河川が琵琶湖に注ぎ込み、それらが宇治川となって八幡で桂川、木津川と合流し淀川となって下流をめざし、途中で中津川(長柄川)、正蓮寺川、六軒家川などになって河内からの大和川とともに大阪湾に注ぎ込む。

度重なる河川の氾濫、洪水に江戸幕府の命を受けた河村瑞賢が67歳の時、1683年から淀川の治水工事に取りかかります。この人は伊勢の国度会郡の農民出身で江戸大火の際に材木調達でのし上がり、更には東廻り廻船、西廻り廻船の航路を開発した豪商です。当時九条あたりは大きな島で、これが河川氾濫の一因だった様で、この島の真ん中に幅72メートルの水路を掘削し安治川としました。工期は僅か20日。現在も安治川大橋の地名が残ります。その後大和川の付け替え工事もなしとげました。「商いは機をみるに敏であれ」の名言を残しました。

大阪の大洪水の歴史をたどると、筆頭に明治18(1885)年明治大洪水があります。この年の6月と7月の大雨で上町台地と天王寺、天満宮周辺を除いてほぼ水没し、天満橋、天神橋、難波橋など主な30もの橋を含む500以上の橋脚が流され、水深は4mに及び河内湖が現出するという有様でした。これにより長らく大阪は苦しみました。そこで明治政府は本腰を入れて淀川の治水工事に取り

組みました。日本中の河川の補修をしたオランダの技師デレーケは淀川下流の中津川に沿って、佐太から河口まで約16kmの新淀川を開削しました。当時堆積物で水深は40cm、伏見までの水運も平底の40石舟が通るのがやっとの状態が昨日通れた濡筋(船の通り道)が今日は通れず、水夫がその都度濡堀りをしてすすめるという有様でした。デレーケは浚渫工事をして1.5mまで水深を確保し蒸気船を通れるようにしたようです。

これに併せて、現在の大川(旧淀川)入口の毛馬に洗堰を、神崎川に樋門を設けることで、両河川の水量の確保、土砂の流入の防止を実施。フランス帰りの技師、沖野忠雄の計画により明治29(1896)年から明治43年にかけて、我が国最初の本格的な治水工事として行われました。

個人的な経験で言うと1961年の第2室戸台風で当時の大正区の自宅は床上浸水し家族総出で家財や畳を2階に運び上げていたのを5歳の私が面白がって見ていたものでした。外に出ると一面の湖状態で市電の車両がわずかに高い橋の上にとめられて避難していたのが非現実的な光景で、今でも目に焼きついています。

また、私の診療所は実は毛馬の隣町にあり、近くの電柱には淀川の堤防決壊の際には4.7mの高さまで水が来ますと書かれています。4.7mなら診療所の2階まで水没し、電子機器は全ておじゃんです。温暖化現象や気候変動により昔とは違ったゲリラ豪雨により全国あちこちで浸水被害が報告されていますが、地震でも堤防は切れてしまう。東南海地震が来ないことを切実に願う今日この頃です。



毛馬の閘門

たにまちのくるま道楽

阪本 博史（昭和59年入局）

先日、生まれて初めて、「雅楽」を観に行ってきました。

「雅楽」とは、古代の中国で庶民的な「俗楽」に対し、貴族的な雅正な楽。12世紀初め朝鮮半島からも伝わりました。奈良、平安時代に完成し、宮廷、寺社などで行われた音楽と舞です。日本古来の音楽や舞と、大陸から伝来した諸芸が融合して成立した芸能で、日本でも最も古い歴史を持つとされています。その演奏形態は雅楽器による音楽（管弦）とその音楽に舞を伴う（舞楽）、そして雅楽器を伴奏に歌う（歌謡）の三種類あり宮廷や寺社の年中行事などで演じられます。唐から伝わったものと高麗から伝わったものの二種類が演じられます。宮内庁式部職楽部が伝承しています。今回初めて観てみてふと感じたのは、「相撲」の横綱土俵入り、弓取り式と似た動作の舞があることでした。相撲に似ているのではなく、相撲の所作が雅楽から伝わっているということです。やはり相撲は神事です。

眠くなりそうな演奏、舞かと思っていたのですが、楽器の奏でる超高音が耳鳴りするほどで、うたた寝などできませんでした。天皇陛下の御前で奏で、舞う、無形文化財の雅楽、一度足を運ばれてはいかかですか。

つぎはクルマのはなしです。

とうとう電気自動車になりました。転居を機に、車庫に充電設備を取り付けられるようになったので、電気自動車を買ってみました。ベンツの一番小さな電気自動車「EQA」。同クラスのSUVより価格は200万円ほど高く、車重は800kgほど重く2400kgあります。急速充電装置は20万円から40万円くらいですが、ベンツでクルマを買うとベンツマーク入りの専用機器がついてきます。設備にかかる費用は10~20万円くらいでしょうか。外出先では、専用コードが車載されていますので、それを使って充電するか、充電装置についているコードを使用します。家庭での充電は、¥300/100

kmくらいの費用になり、だいたいこのクラスのフル充電で400kmくらいですので、一回フル充電¥1200です。ガソリン車で、リッター10km走れるクルマの400kmぶんだと40Lなので、約¥7000。やはりお徳です。

外出先での充電は、「充電認証カード」があると、安く充電できますが、月会費が発生しますので、自宅に充電設備が無い場合や、しょっちゅう外で充電するほど長距離乗る方はこのカードの登録が便利になります。このカードなしで外で充電すると、1.5倍くらい高くなります。急速充電だと、登録済で場所にもよりますが、¥800から¥1200くらい、登録無しだと¥2000から¥3000くらいかかります。ただし、「ただ」で充電できる施設もたくさんあります。

外での充電は、30分と決められており、だいたい100~150km分しか充電できません。何時間コンセントを挿していてもこれ以上は充電してくれません。外の施設で前のクルマが充電していると、最長30分は待たされます。EQAで東京まで往復するとすると、フル充電で450km走り、足柄SAで充電、東京着。東京のホテルで充電、以降大阪戻るまで、100km走る毎に充電。4回充電、充電時間2時間。無理ですね。

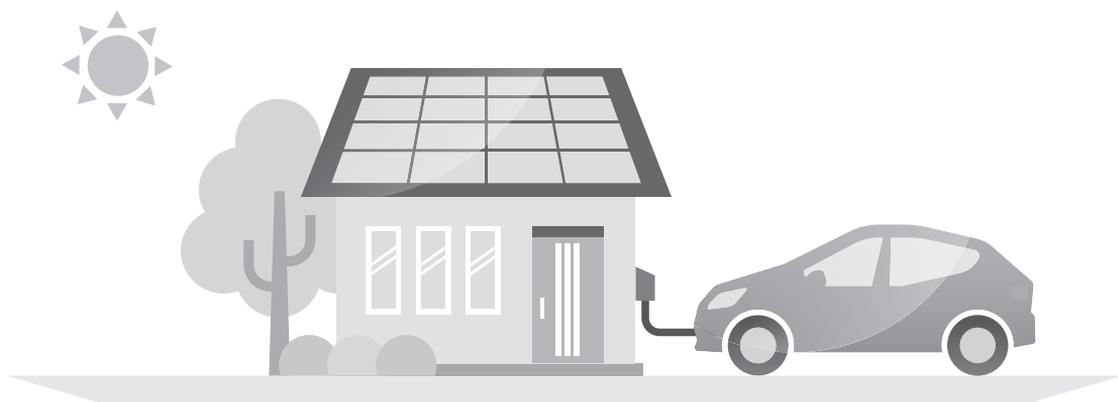
街中往復200kmくらい走るのに利用するクルマです。長距離乗るには電気自動車は無理です。というわけで、多くの自動車メーカーは「プラグインハイブリット」なるクルマにシフトしています。充電しモーターで100km走り、電池が切れたらエンジンで走るというものです。これなら長距離も安心です。近場だけ走るには100km走ることができれば充分なのでモーターで、長距離行くならエンジンで、というわけです。ただ、このプラグインハイブリットは、エンジンでは充電してくれません。これが出ると便利です。

100kmしか走れないメリットは、電池が小さく出来ることで、車重が軽くできることです。電気自動車は、電池が巨大で車重が重い為、ブレーキ

が強化されており、タイヤの磨り減りが激しいようです。しかし、車重が重い為、高速安定性は抜群です。速さもガソリン車以上です。

純粋な電気自動車はまだまだ充電設備が充実し

ていない事や、住宅事情などで、セカンドカーでしか利用は難しいと思います。今は、「プラグインハイブリット」が良いのではないのでしょうか。



龍馬が消える

竹中 稔幸（昭和62年入局）

坂本龍馬が歴史の教科書から消えるそうです（もうすでに消えてしまっているのかもしれませんが）。

私たちが中高の頃の教科書には斜め左を向いて立っている写真が載っていたのを覚えています。明治維新を推し進めたとされる人物の中で特筆されるのは「維新の三傑」とされる西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允であるのになぜ、坂本龍馬がそれほど取り上げられていたのでしょうか。多分に司馬遼太郎の「龍馬がゆく」の影響が大きかったのでしょうか。

そもそも明治維新の背景となった幕末の「尊王攘夷」思想ですが、国家元首である天皇を尊ぶ「尊王」はともかく、夷敵を斥けようとする「攘夷」に関しては当時の西洋諸国との国力（軍事力）の差から非現実的な思想（妄想）なわけで、幕府側からすれば（外圧に屈して）開国したことに対する言いがかり以外の何物でもないでしょう（革命というものの大部分は過激思想を背景にしているものですが）。

尊攘思想が高まって長州藩が禁門の変（蛤御門の変）を起こすのですが、この時、会津藩と一緒に長州藩を阻止した西郷隆盛率いる薩摩藩は、以後長州藩士にとって仇敵となってしまいます。

その後、第一次長州征伐が行われることになるのですが、この時は征長軍の参謀として全権を委任された西郷は長州藩にとっては講和のために結構過酷な条件を突きつけますが、この時は戦端が開かれることなく征長軍は解兵します（その後、小競り合いはありましたが大規模な開戦はありませんでした）。その後、幕府内での勢力争いが収まらないため薩摩が離反して薩長（秘密）同盟が結ばれ、第二次長州征伐には薩摩は参加せず、長州の兵器購入を援助して影から長州軍を支えたため、士気の上がりぬ幕府軍は敗北し、大政奉還、戊辰戦争へと明治維新は進んでいくわけで

す。

確かに薩長同盟は坂本の斡旋により締結されたということになっていますが、仲介者が同盟調印の当事者達よりも評価されるのはいかがなものかと思います。薩摩の代表は西郷ですが、長州にとっては禁門の変、第一次長州征伐以来の仇敵で、とても同盟など結べるはずはなかったのですが、このまま長州単独で幕府を敵に回すのは（しかもこの時は朝敵とまでされていましてから）得策でないと判断して私怨を捨て同盟締結を行ったのはひとえに長州側の木戸孝允（当時は桂小五郎）の英断ではないでしょうか。あと、第一次長征で戦端が開かれなかったのもぎりぎり運が味方していたのでしょう（さすがに2回も戦闘していれば関係修復は不可能だったでしょうから）。

では実際の坂本の振る舞いはどうだったでしょう。彼は日本初の貿易商社といわれる亀山社中、それに次ぐ海援隊を結成したというのは事実ですが、これは亀山社中を通して薩摩が買い付けた兵器を長州に仲介していたもので、売り手、買い手がすでに決まっている楽な商売で、当然ながら坂本はこの中継貿易で巨額の利益を上げていたはずで、第二次長州征伐が終わってからは薩長にとって亀山社中は用なしとなり解散してしまったため土佐藩士とともに海援隊を立ち上げたのです。亀山社中での成功が忘れられなかったのでしょうか、果たして商売はうまくいっていたのでしょうか？そもそも「海援隊」という名前からも長州征伐時の亀山社中のように海から戦を応援するという「夢よもう一度」の思いが出ていると思います。

ここで「いろは丸事件」が起こります。海援隊のいろは丸は最初の航海で瀬戸内海で紀州藩の明光丸と衝突し、沈没してしまいます。

この時の衝突に関してですが、向かい合って走る船は衝突回避のためお互いに取舵（右舵）を切

るのが決まりで、両船ともに取舵を切るのですがその後、いろは丸が面舵（右舵）を切ったため両船は衝突してしまいます。慌てた明光丸はいったん後退した後、操船を誤り再びいろは丸に衝突してしまい、いろは丸は大破、沈没してしまうのです。

衝突の原因はいろは丸側にあるのは明らかですが、坂本は「国際公法」上、明光丸に過失があると言いがかりのような主張をします（長い鎖国のせいで当時は国際公法など誰も知らないでしょうが、船は鎖国以前から行き来しているわけですから操船はほぼ世界中で統一されていたにもかかわらず）。しかも船の代金は3万5千両、積荷のミニエー銃4百丁と金塊合わせて83,526両（現在の価値で164億円）を要求します。後に分かったのは船がせいぜい1万両、積荷はそれほど多くない米と砂糖ぐらいで銃や金塊は積載していなかったということがわかっています。事故に応じて吹っ掛けただけでも相当な食わせ物ですが、操船自体もあやまりではなく最初から衝突を意図したものだと考えたほうが自然でしょう。

海援隊の前身である亀山社中は貿易商社ですか

ら第二次長州征伐直前から最中は中継貿易で大儲けしていたでしょうが、戦争が終わったため収入は激減したはずで、失地回復を願っていわゆる当たり屋を画策したのではないのでしょうか。たまたまかもしれません。相手が長征での敗北で威信凋落が著しい徳川御三家の紀州藩ですから恩を売った薩長が味方してくれると踏んだのかもしれませんが。

坂本自身はこの事故のわずか8日後に暗殺されます。少し後に戊辰戦争が起こりますからもう少し地道に小商売を続けていればまた戦争特需があったかもしれません。事実、海援隊を引き継ぐことになった岩崎弥太郎は後三菱財閥を築いていきますから、坂本が生きていたとしたら岩崎のように政商として成功していたでしょう。

ただ、もし政治家にもしなっていたとしたら、その行いからして信用のおける人物とは思えず、明治の日本を動かすような大物になったとは到底思えません。

教科書から消えてよかったです。



ポップミュージシャン 竹内アンナ

鯉永 浩 (平成7年入局)

1998年4月25日、アメリカ・ロサンゼルス生まれ京都出身。

ポップミュージックをベースとしていますが、ジャンルに捉われない解釈をしているようで、ギタープレイが上手くて、熱心な音楽ファンに注目されているシンガーソングライターです。

自身の音楽活動以外にもKinKi Kids、坂本真綾、伊藤美来、菅沼千紗、UNCHAINなどへの楽曲提供のほか、ハウス食品株式会社のテレビCMの唱歌なども行っているようですが、あんまり私にはピンと来ませんでした。

アコースティック・ギターにスラッピング（親指で弦を叩く動作と人差し指で弦を引っ張ってはじく動作を組み合わせた演奏方法で、独特のアタック感のある派手なサウンドやグルーブを生み出すことができるそうです、なかなか優れたテクニックのようですね）を取り入れたテクニカルな演奏技術と、透明感のある歌声が話題になり、19歳で2018年アメリカ・テキサス州オースティンで行われた大型フェス「サウス バイ サウスウエスト2018」に出演をしました。（YOSHIKIも出演したことがあるそうで、5万人位の観客が集まる、大きなイベントらしいです）

帰国後、2018年8月8日に4曲入りE.P『at ONE』でメジャー・デビュー。タイトルは「Anna Takeuchiの1枚目」という意味だそうです。

2020年3月18日に、1st ALBUM『MATOUSIC』をリリース。収録楽曲「RIDE ON WEEKEND」はWOWOWオリジナルドラマ「有村架純の撮休」主題歌として話題になったようで、私もAmazon primeで、「有村架純の撮休」を見て、エンディングで流れる「RIDE ON WEEKEND」を聴いて、聴き心地のいい曲だなあと、誰が歌ってるんだろうと調べて、竹内アンナと言う26歳の若い、シンガーソングライターであることを知り、今回ご紹介させていただき

ました次第です。

なぜ有村架純かと言いますと、これまで名前と顔くらいしか知らなくて、Amazon primeで色々なドラマや映画を見てるうち、ファンの方には申し訳ないのですが、特別に花があるとかオーラがあるとかではないと思ったのですが、自然な感じで人物を演じられてて、笑顔でくしゃっと顔が別人に変わるようなところがあり、嫌味がなく感じのいい女優さんだなあと、色々見てましたら、「有村架純の撮休」に出会いました。そして、今回ご紹介いたします、竹内アンナに行きつきました。

ちなみに、家内に有村架純って知ってる？と得意げにきいたら、誰でも知ってる人気女優だよ。とのことで、恥ずかしながら、タレントのこと何にも知らないんだと、自覚させられました。皆さんは、良く知っておられるんですね。

さて、竹内アンナに戻りますが、2022年3月2日に2nd ALBUM『TICKETS』をリリース。収録楽曲「手のひら重ねれば」は日本テレビ系「スッキリ」のテーマ曲として起用され、フジテレビ系列「セブンルール」インフォマーシャルソング、FM802の2020年10月度ヘビーローテーション楽曲となった「+imagination」などが収録されているそうです。

2024年3月20日に3rd ALBUM『DRAMAS』をリリース。自身も出演する大阪・森ノ宮医療大学テレビCMに書き下ろした「Bye Bye, Hello」などが収録され案外、耳にしていた曲もあったのかもしれない。私は最近知った、アーティストなので詳しくないのですが、楽曲は良い感じですよ。

YouTubeに竹内アンナの個人チャンネルがあり、アップルミュージックでも聴くことはできますが、ライブは機会が少なく、聴きに行くことは難しそうです。さらに人気上がり、ライブツアーなどあれば、是非行きたいなあと、ア

テストです。

竹内アンナと、これまでよく知らなかったけど有村架純が良い。と言うことでタイトルと内容が少し異なりますが、ここまで、読んで下さりありがとうございます。

3つのアルバムのリストを載せて終わらせていただきます。私は、初めのMATOUSICが良いと思いますが、いかがでしょうか。アルバムの写真は、著作権とかに触れそうなので、載せていません。



2020 MATOUSIC

1. RIDE ON WEEKEND
2. B.M.B
3. I My Me Myself
4. TOKYO NITE
5. If you and I were,
6. 伝えなきゃ、届かなきゃ、君に聞こえなきゃ。
7. 20 -TWENTY-
8. Midnight Step
9. SUNKISSed GIRL
10. Free! Free! Free!
11. ALRIGHT

2022 TICKETS

1. Intro : "Have a nice trip"
2. 一世一遇Feeling
3. 手のひら重ねれば
4. YOU+ME
5. +imagination
6. GOOD FOR ME
7. ICE CREAM.
8. いいよ。
9. 我愛me
10. No no no (It's about you)
11. Love Your Love
12. Now For Ever (with AFRO PARKER)
13. Outro : "Hope to see you again"

2024 DRAMAS

1. 最幸のふたり
2. BREAK MY CASE
3. I Love Youの言葉より
4. DRAMAS
5. WILD & FREE
6. Chili Chili Chillax feat. claquepot
7. Mr. moonlight
8. WONDERLaND mAGIC with Mashinomi
9. たぶん、きっと、ぜったい
10. Bye Bye, Hello
11. THANK ME
12. 泡沫SUMMER

今宵も日本酒で乾杯

宮脇 裕二（昭和55年入局）

今回もまた日本酒の話で恐縮ですが、以前話しましたように『十四代』、『新政』、『而今』はプレミアム価格になっており普通では手に入りません（写真1）。大阪のヒルトンホテルで『而今』を頼もうとしたところグラスで8800円と言われ、普通の有名どころの約4倍で、速攻、別銘柄に変更となりました。そこで、日本料理屋、居酒屋で普通にあるいは稀に置いていそうな、美味しい日本酒を私のあくまで主観ですがいくつか紹介したいと思います。『瀬祭』、『久保田』、『醸し人九平次』、『田酒』などの有名どころは今回は省かせていただきます。



写真1

1) 仙禽 せんきん（写真2、3）

栃木県さくら市にある文化3（1806）年創業の蔵元で、仙禽とは仙人に仕える鳥、「鶴」を意味するそうです。基本シリーズは「モダン」と「クラシック」の2種類があり、ネットで定価買いが可能です。古くから伝わる生配造りで造られた『クラシック』は仙禽の特徴でもある酸味と甘みがしっかり出ているのが特徴であるのに対し、現代の日本酒造りの基本である速醸酀（そくじょうも）製法で造られた『モダン』は香り高く華やかな印象を感じさせるお酒です。さらに上級バー



写真2



写真3

ジョンの『プレミアム』もありますが、私はまだ飲んだことはありません。

2) 龍神丸 りゅうじんまる（写真4）

創業は天保11（1840）年。初代が地元に通く不老長寿の「空海水」と呼ばれていた水に着目し、この水で酒を造ろうと思いついたのが高垣酒造場の起源です。少し甘味に酸味を交えたような感じのお酒で、私の結構おすすめのお酒です。難点は入手がやや困難な点でしょうか。したがって居酒屋の酒リストにこの銘柄があれば必ず頼むようにしてください。後悔はさせません。ネットで購入すると少しプレミアがついて高くなっているようです。



写真4

3) 鳳凰美田 ほうおうびでん (写真5)

小林酒造(栃木県)日光山系の豊富な地下水、雄大で繊細な自然の恩恵を受け、創業明治5(1872)年より150年以上に渡り日本酒を醸しています。このブランドの特徴は、こだわりの吟醸造りによって生まれる、そのフルーティーな甘やかな風味ということができましよう。幸いまだこのブランドはまだ高くはなっていませんで、定価買いが可能です。料理店でリストにあれば是非試していただきたい銘柄です。ふるさと納税で購入可能です。

写真のものは酒米・酒未来から作られており、この米は山形県村山で醸される幻の銘酒・十四代の醸造元である高木酒造が、18年もの歳月を費やして開発した稀少品種で、高木酒造が認めた酒蔵だけが使用できる特別な酒米です。



写真5

4) 小谷錦 おたりにしき (写真6)

スキー場を多く抱えるJR大糸線、信濃大町駅近くの北安醸造という酒蔵で作られる数量限定の幻のお酒で、小谷村産の酒米「白樺錦」を原料にした純米吟醸酒です。スキーに行った際に初めて飲んだのですが、少し甘口で、すっきりとした味です。難点は1月から数量限定の集荷ですので、季節さえ間違わなければ、容易に手に入ります。ふるさと納税でも入手可能です。



写真6

5) 墨廻江 すみのえ (写真7)

これは宮城県の港町石巻市の墨廻江酒造が醸しているお酒で、特に純米大吟醸 PREMIUM365ではオールブラックのボトルの上に365と書かれ、非常にかっこいいデザインとなっております。兵庫県の特A地区で栽培された山田錦から造られており、フレッシュでリッチな味わいを醸し出します。365の意味ですが精米歩合が36.5%ということを目指し、365日の締めくくりとか、はじまりという意味も兼ねています。とにかくかっこいいお酒です。



写真7

6) 射美 いび (写真8)

「日本一小さな酒蔵」を標榜する家族経営の杉原酒造で作られる酒で、芳醇甘口といった感じで非常に人気があります。現在徐々に入手困難になってきており、而今の次はこれがプレミアム日本酒になりそうです。事実ネットで価格を見るともうすでにプレミアム価格となっております。割烹や寿司屋で見つけたら必ず試すようにしてください。そのうち飲めなくなりそうな気がします。



写真8

日本全国で言うと数えきれないくらいの日酒銘柄があります。皆様方からの異論はあろうかと思いますが、今回は私の独断と偏見で選ばせていただきました。



編集後記

今回も多くの投稿をいただき、ありがとうございました。石崎先生からは焼き物に関する興味深いお話をいただきました。確か、鳴嶋先生も陶芸に御造詣が深いとお伺いしていたところで、私も現役を引退した特に何かコアになる趣味の一つ持つべきだなと感じました、

黒田先生からは市大整形外科と市整会の歴史、特に大阪公立大学になっても市整会の名前は存続すべし、なぜなら名古屋と横浜の両市立大学に了解をとっているため、という大変重要なお話をいただきました。

私ごとで恐縮ですが、総会で議論になりました会員の急病時代診の話ですが、小生も膝が悪く、ついに人工関節置換が必要な状況になり、約2週

間の入院をする予定となりました。お盆休みを利用してできるだけ休診の日数を減らし、あとは代診の先生をお願いして各コマを埋めていこうと画策いたしました。代診の先生を探すとなるとやはり大変で、教室の大学院生に頼むだけでは到底無理と感じました。幸い手術まで時間がありますので、過去にお世話になった先生方に泣きつく、あるいは兵庫医大ルートもあたり、なんとか休診日を全て埋めることができました。代診の先生を探す苦労を経験して、大学医局以外に幾つかのルートを確認しておかないといざという時に大変なことになることがわかりました。

広報 宮脇裕二